

## 祝 辞

常務理事  
写真代読する小林康一



大阪府中小企業団体中央会  
会長 田中 鑄三

本日ここに、大阪建設機械リース協同組合創立 30 周年記念式典を開催されるにあたり一言お祝いを申し上げます。

かえりみますと貴組合は、昭和 32 年 10 月、建設機械業界の経営の合理化と経済的地位の向上を図るため、大阪建設機械商組合として発足され、昭和 43 年 10 月には地区を近畿 2 府 4 県に拡大されるとともに、機械を貸与することに着手して、今日の大阪建設機械リース協同組合に組

織変更されましたが、この先見性を基礎として常に相互扶助の精神を基調に組織の拡大強化をはじめ、技能検定の実施、教育情報の提供、構造改善事業等を通じて業界の近代化、高度化の推進に中心的な役割を果たしてこられました。

この間、佐川理事長様をはじめ歴代理事長組合役員ならびに組合員各位の並々ならぬご努力に対し、私ども中小企業団体関係者として、深く敬意を表する次第であります。

## “一層の創意工夫と精進を”

ご高承の通り、最近のわが国経済、特に中小企業を取り巻く経営環境は、経済のソフト化、サービス化、情報化の進展、加えて円高ドル安の一層の進展、さらに産業構造の変化が一段と加速しつつあるなど、厳しい状況にあり、中小企業にとって、これら諸問題への対応が緊急の課題となっております。幸い内需拡大政策にともなう建設関連の好調に支えられ、貴業界におかれては、他の業界と比較し、明るい展望が見受けられると承知いたしております。

すなわち関西地区においては、関西空港の建

設着工をはじめ数々の大型プロジェクトが始動しようという時期に、貴組合がこの記念すべき 30 周年を迎えられましたことは、誠に意義深いものがあり、どうか皆様方におかれましては、本日を契機に改めて佐川理事長様を中心に一層の創意工夫とご精進を賜り、業界の発展と企業の繁栄に大きく貢献されますよう念願して止みません。

終わりに臨みまして、貴組合の皆様方のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。